

奥沢地区の催し物ご案内

日時	内容	時間・場所等
4月5日(日)	奥沢交和会お花見交流会	午前中 区立奥沢公園(タイヤ公園) 雨天中止
4月6日(月)	奥沢小学校・東玉川小学校入学式	奥沢小学校・東玉川小学校
4月7日(火)	奥沢中学校入学式	奥沢中学校

※2月27日現在の情報で作成しています。詳細はお問い合わせください。

あんすこからのお知らせ

— 「あんすこ川柳」のご紹介と募集 —

奥沢あんしんすこやかセンターでは、日々の暮らしの中でふと生まれた思いを五・七・五にのせる「あんすこ川柳」を募集しています。

みなさまの身近な気づきや季節のひとこまを、ぜひ一句にしてお寄せください。ご応募を心よりお待ちしております。今回は、1月に寄せられた素敵な一句をご紹介します。

「新年に ステーキを食べ 至福かな」

新しい年を迎えた喜びが、ほのぼのと伝わってくる一句です。また、奥沢あんしんすこやかセンターでは、ウェブやSNSを通じて各種情報を発信しています。地域の皆さまのお役に立つ情報を随時更新していますので、ぜひご覧ください。



〈寄付・募金報告〉～ありがとうございます～

能登半島地震 被災地義援金	奥沢地区祭礼かき氷販売収益	82,600 円
奥沢地区祭礼・新春奥沢地区まつり	12月12日 豊島工務店様ご寄付	20,826 円
本年度4月からの義援金累計額	本年度4月からの累計額	103,426 円
40,334 円	かき氷の売上金等は、奥沢地区社会福祉協議会が行なうインボディ測定会、ココロン椅子の設置などの事業に活用させていただきます。	

【編集後記】

「おくさわココロン」は奥沢地区の福祉活動などをお知らせする「地区情報紙」として年3回発行しています。ところで、奥沢地区社協が毎年行う主な事業は時期毎にほぼ同じです。

そのため、「おくさわココロン」に掲載する記事も同じになる傾向にあり、毎号フレッシュな紙面づくりに苦労します。そこで、本号から新記事として世田谷区社協が全区民を対象に行っている活動を随時掲載します。私たちに身近で大切な活動を沢山行っています。ぜひご覧ください。



発行：奥沢地区社会福祉協議会 東京都世田谷区奥沢 3-15-7 奥沢まちづくりセンター内  
本紙掲載の内容に関するお問い合わせは下記へお願いします。

Tel.070-3946-9796

e-mail : okscocoron@yahoo.co.jp



歳末たすけあい・地域支えあい募金 ご協力ありがとうございました

今年度も奥沢交和会、東玉川町会の皆様にご協力いただき、

476,000 円の募金をお寄せいただきました。



募金の一部は、支援を必要とする方へのお見舞金・お祝い金、在宅で高齢者、障害者を介護している方へのお見舞金としてお届けすることができました。

そのほか、地域福祉の充実を図るため、翌年度の地域福祉活動費（ふれあい・いきいきサロン活動補助費、子ども食堂等への運営支援金等）に充てられます。

皆様の温かいご理解とご協力に深く感謝いたします。

世田谷区社会福祉協議会 活動紹介

「あんしん事業」をご存知ですか？

「物忘れが増えて、支払いや通帳の管理が心配」「大切な書類をどこに置いたか忘れてしまう」……そんな時、世田谷区社会福祉協議会の「あんしん事業」が力になります。

高齢や障害のある方のご自宅を社会福祉協議会の職員が定期的に訪問して、通帳からの払戻、公共料金の支払い、福祉サービス利用の手続きなど、日常生活に必要な事務と一緒に確認や代行をして支援します。(複雑な財産管理や契約の代理などはできません。)

利用料金：1時間 1,000 円～

大切な財産と生活を守る「成年後見制度」

認知症などで判断力が低下すると、銀行の手続きができなくなったり、悪質な詐欺に遭ったりするリスクが高まります。成年後見制度は、法律の専門家や親族などが「後見人」となり、ご本人の意思を尊重しながら支える仕組みです。

＜後見人が行う具体的なサポート例＞

後見人は、主に以下の2つの業務で生活を支えます。

- お金の管理：預貯金の入出金、税金や公共料金の支払い、不動産の管理・売却等
- 生活の契約：介護保険の申請、介護サービスや施設への入所契約、入院手続き等

「手続きなど何から始めればいいのか？」というご相談で結構です。まずは成年後見センターへお問合せください。

成年後見制度、あんしん事業のご相談は成年後見センターへお問合せください。

成年後見センター 電話：03-6411-3950

(世田谷区成城 6-3-10-3階)

# 第44回 新春奥沢地区まつり 開催

令和8年1月18日(日)に東玉川小学校にて第44回新春奥沢地区まつりが開催されました。奥沢中学校の改築工事で当面の間、中学校の校庭が使用できなくなっているため、前回に続き東玉川小学校を会場に行われました。当日は好天に恵まれ5,100人の来場者で賑わっていました。会場には餅つき体験コーナー、模擬店、ゲーム遊び、ミニステージ、防災コーナーなどが設置され、人気の小学生マラソンでは今迄で最高の230人あまりが参加し、地区まつりを大いに盛り上げてくれました。

## 「点字体験コーナー」に中学生ボランティア!!



地区祭りでは毎年、中学生がボランティアとして活躍しています。奥沢地区社協では、パンフレット、広報誌による活動のPR、食で応援プロジェクトとSDGsに向けた食品ロス削減の「ご自由にどうぞコーナー」を設置しました。今回の「点字体験コーナー」は中学生ボランティアに担当してもらいました。親子で一緒に体験する姿もあり、作ったオリジナル名刺を指先で確認しながら「ありがとうございました」の声。中学生ボランティアも熱心に説明をして下さり、55名の参加がありました。今後も続けていきたい福祉体験です。また、能登半島災害義援金募金活動には、6,297円の募金をいただき、ありがとうございました。

## 食で応援プロジェクト

12月14日、15日に奥沢交和会、東玉川町会、奥沢地区ごみ減量・リサイクル推進委員会の共催で「食で応援プロジェクト」を行い、たくさんの食品を寄付いただきました。寄付いただいた食品は事務局の窓口を通して、必要としている方にお渡ししています。11月29日には、身近なまちづくり推進協議会の事業開催時に、奥沢まちづくりセンター玄関前スペースでSDGsに向けた、フードロス削減から「ご自由にどうぞコーナー」を設け、賞味期限の近くなった食品をお渡ししてPRを行いました。奥沢地区で寄付いただいた食品は、地区内の必要とする方にお渡しする、独自の取り組みが始まり5年が経過します。毎回、皆様のあたたかいご支援、ご協力に感謝いたします。



令和7年度

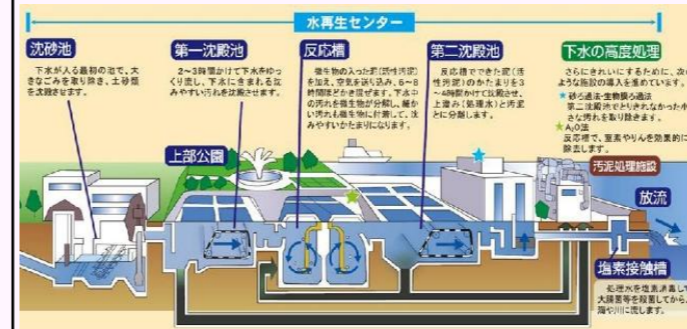
奥沢地区社協推進員研修

# 落合水再生センター一見学

令和7年度の推進員バス研修は、令和8年2月5日(木)東京23区中心部の新宿区にある『落合水再生センター』を見学しました。この施設は、新宿副都心に極めて近い場所にあり、住宅地に囲まれた水再生センターとして周辺地域の環境に配慮した管理を徹底して行っていました。



この「水再生センター」とはどんな施設なのでしょう。私たちの生活環境を考える上で、汚水や排水などの下水の処理はとても大事な問題です。そしてこの課題に取り組み東京都区部(23区)では平成7年に下水道がほぼ100%普及しました。更に下水道の役割を、汚水の適切な処理で快適な生活環境を確保すると共に処理水の有効活用すること等、下水道のイメージは従来の「排水を流し処理する」から「きれいな水に返し再利用する」と言うように変化しています。そして平成16年に今まで「下水処理場」と呼ばれて来た処理施設は「水再生センター」と改称されています。水環境に関する考え方の変化が分かります。



今回の研修では、最初に全員が会議室で下水道の仕組みや役割、水再生センターの下水処理のしくみなどのビデオを見てから、全体が3つのグループに分れて職員の方の案内により落合水再生センターの施設を見学しました。

「沈砂池」→「第一沈殿池」→「反応槽」→「第二沈殿池」→「塩素触媒槽」の順に詳しい説明をいただきながら施設を廻りました。ここの処理施設は、周辺地域への環境配慮で

施設全体が屋内に収容されているそうです。更にここには日本で初めて水処理施設の上部を利用して公園が作られています。「落合中央公園」と名付けられた公園には野球場やテニスコート、芝生広場等が整備され多くの地域住民に利用されています。

落合水再生センターの特色としては、処理水を高度処理した再生水を新宿副都水リサイクルセンターに送水してビルのトイレ洗浄水として活用されている他、城南三河川清流復活事業として、水環境の変化により水の流れがほとんど無く川の環境が悪化していた渋谷川、目黒川、呑川に水流を復活させるため再生水を送水して放流することにより水量を増やしています。都市部に存在する水再生センターの役割を認識させられた研修でした。

